



# 入学式

4月8日、矢部高校入学式が挙行されました。本年度は、新たに44名の新入生が本校の仲間入りを果たしました。真新しい制服に身を包み、少し緊張した面持ちで式に臨む新入生たち。その姿から、これから始まる高校生活への期待と決意が感じられました。

困ったことがあったら先輩を頼ってね!



## 入寮式～9人が入寮～



「やまと令和寮」に新入生9人が入寮されました。せっかくの3年間。日々の学校生活はもちろん、山都町を存分に満喫してほしいです。おめでとうございます!

## 5・6月行事日程

- 5月20日(水)～22日(金) 1学期中間考査
  - 5月29日(金)～6月1日(月) 高校総体・総文祭
  - 6月4日(木) 生徒総会
  - 6月23日(火)～24日(水) 熊本県学校農業クラブ連盟年次大会(芦北)
  - 6月25日(木) 生徒会役員改選・立会演説会
- ※行事・日程等を変更する場合があります。詳細は学校ホームページ等でご確認ください。

## 矢部高校へようこそ!



12名の新転任の先生方です  
これから、よろしくお願いします!

- 仁田原 校長 石井 主任事務長  
 小早川 先生(数学) 山崎 先生(保健体育)  
 吉永 先生(英語) 盛一 先生(園芸)  
 梅田 先生(理科) 大山 先生(事務)  
 伊藤 先生(数学) 幸田 先生(政・経)  
 柴田 先生(農業) 村田 先生(数学)

## 「ネイチャーポジティブ矢部高校！コンソーシアム」が発足しました！

矢部高校と山都町は、教育活動の充実と地域活性化を一体的に推進するためのコンソーシアム(共同事業体)を3月26日に設立。坂本町長を会長に、町内外の専門家を運営委員にお迎えし、産官学金の連携を活かした取組を行っていきます。

### 第1回運営委員会の様子(3月26日)



矢部高校では、自然を保護し回復させていく「ネイチャーポジティブ」の取組を実践し、自然と経済の両立をめざす「ネイチャープレナー」を育成します!

↓矢部高校の情報は以下もチェック!

【矢部高校ホームページ】



【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】



# わたしたちの人権

254

誰もが人間として生きていくうえで  
侵すことのできない当然の権利  
これが『人権』です

## 人権作文の紹介(令和7年度)

今月は、蘇陽南小学校 五年 堀このかさんの作文をご紹介します。

### 学び続けることの大切さ

私たちは、中尾児童館で、中村益行さんから矢部で行われたハンストについて話を聞きました。話を聞いて、私は、むらの人たちは何も悪いことをしていないのに、まずしいくらしをずっとさせられていたり、道路がせまいまま放ったらかしにされていたりしたことがおかしいと思いました。道がせまくて消防車や救急車が通れなかったら、何かあった時に絶対あぶないと思います。そんなことはおかしい、なくしたいと思ったからむらの人たちは、命をかけてまでハンストをして、自分たちの思いや考えをうったえたのだと思います。でも、役場の前でハンストをしている時に、その様子を見て見ぬふりをした町の人もいたそうです。私は、おかしいことをおかしいと言っ

ている人たちを見て見ぬふりをする  
ことの方がおかしいと思いました。  
でも、私も前に友だちが悪口を言  
われていたのを見たけど、何も言え  
ませんでした。今思うと、私もハン  
ストを見て見ぬふりをした町の人と  
同じでした。  
私は、役場で働いているお父さん  
に話を聞きました。役場では、同じ  
ことを繰り返さないように、職員に  
学ぶ機会を確保しているそうです。  
具体的には、私たちと同じように、  
人権センターの方に話を聞いたり、  
実際にむらの中を歩いたりして、差  
別の歴史や役場が何も対応してこな  
かったこと、同和対策事業などのよ  
うに変わっていったのかなどを学ん  
でいるそうです。また、同じことを  
繰り返さないために、ハンセン病や  
障がいに関すること、インターネッ  
ト上での人権しん書に関するることな  
ど、その他の人権問題についても、  
多くの職員が学べるように研修の機  
会をつくっているそうです。お父さ  
んが、

「過去のまちがったことをしないよ  
うに、町の人たちにも呼びかけてい  
くために、まずは、役場で働いて  
いる人たちが繰り返し学ぶことが  
大切。」  
と言いました。私は話を聞いて、役  
場で働く人たちも私たちと同じよう  
に人権について学び続けていてすご  
いなあと思いました。  
人権学習の中で、自分のことをふ  
り返ったり、学級のことについて話  
し合ったりしました。私は、話し合  
いをして、自分が見て見ぬふりをし  
たことをとても後かいました。だ  
から、おかしいことを許さない人  
になりたいです。  
中村さんが私たちに、  
「知らないことが一番怖い。」  
と話してくださいました。何も知ら  
ないことが、気づかないうちに差別  
につながると思いました。だから、  
私も、差別をしない側になるために  
学び続けます。  
5・23差別をなくす山都地区  
集会在開催されます。  
開催日時 5月23日(土)  
午前8時45分  
開催場所 矢部中学校体育館  
この集会は、未だに残る部落差別  
(部落問題)を解消したいの思いか  
ら30年前から子どもたちによる子ど

も集会として開催されてきました。  
これまで集会に参加した小学生や  
中学生からは、「自分はいじめがある  
ことに気づけていたか。その時、自  
分は、見ている側か、いじめる側か、  
どの立場にいたのか振り返ることが  
できました。見ている人もいじめて  
いる人と同じとわかりました。」「自  
分が聞かないと差別は見えない。  
差別がなくなるまで闘う」との感想  
が寄せられ、身の周りの差別に気づ  
いていきます。そして、「本当の仲間  
を増やしたい、そしてたくさんの人  
たちとつながり、差別をなくしてい  
こう」と発言されていく中、部落差  
別が自分の事として捉えられていき  
ます。  
このような子どもたちの姿をお  
して、大人も、部落問題と自分との  
かわりに気づいていく集会となっ  
ていきます。  
差別の現状は、それを見ようとす  
る心と見抜く力がなければ見えてき  
ません。そして、目の前にある差別  
をなくそうとする強い意志と熱い心  
が必要です。「5・23差別をなくす山  
都地区集会」はそのことを考え、共  
に学び合う集会です。皆さん是非と  
も参加してください。  
自分の人権を守り  
他人の人権を守る  
責任ある行動を

